卒業研究Ⅰ

科目ナンバリング　THE-401
必修　　2単位

星井　道代

1. 授業の概要（ねらい）

健康教育、生命倫理について研究する講座です。授業では専門書、健康関連教材、新聞、雑誌、映画などを使用します。また「個人研究の計画」と「将来的に健康教育を効果的に教える」ということに焦点をあてます。なお、主体的な学びを目的とし、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、実習等も適宜取り入れ、授業を進めていきたいと考えている。

2. 授業の到達目標

① 「健康教育、生命倫理」に関する事柄を様々な教材を通して、説明することができる力を養うことができる。
② 学校現場での健康教育、生命倫理の指導に必要な力を養うことができる。
③ 個人の「研究」にもつながるよう、自己の将来計画も踏まえ計画的に取り組む力を養うことができる。

3. 成績評価の方法および基準

① 授業参加40%　②レポート40%　③発表20%　等で総合的に評価します。
（注意）ただし出席、試験や提出物など、上記の各項目の中に1つでも極度に悪い状況の場合は、成績評価の対象としない。

4. 教科書・参考文献

教科書
出村 慎一 (著),山次 俊介 (著)　『健康・スポーツ科学のための卒業論文/修士論文の書き方』単行本– 2015/6
参考文献
『わたしの健康』　http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/08060506.htm
『かけがえのない自分、かけがえのない健康（中学生用）』http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/08111804.htm
『健康な生活を送るために（高校生用）』http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/08111805.htm
出井慎一・山吹俊介　卒業論文　修士論文の書き方　杏林出版

5. 準備学修の内容

学校現場での指導者になることができるように、授業以外でも各自努力していきましょう。授業では専門書や、資料・教材を読んだり、また映像等も利用していきます。課題や研究計画の発表もあるので、他の学生の研究にも意欲的に授業参加し、授業準備を行ってください。

6. その他履修上の注意事項

積極的に自ら進んで学び、指導者として十分な能力を向上し、主体的に「研究」に向けて勉強することを要望します。シラバスや課題レポートは必要に応じて調整しますが、詳細は授業でお伝えします。
最初と最後の授業では各自の評価に関する確認があるため欠席しないこと。
内容によりゲストティーチャーを招聘することもある。

7. 授業内容

【第1回】　LMS・オンライン授業;オリエンテーション：授業の内容及び進め方についての説明
【第2回】　LMS・オンライン授業;個人の研究論文（レポート）作成までの計画書を作成する（春期・秋期）
【第3回】　参考図書「大学生のためのレポート・論文の書き方」を各自読み解き、まとめる。
【第4回】　参考図書「大学生のためのレポート・論文の書き方」を各自読み解き、プレゼンする。
【第5回】　各自の関連文献や専門雑誌の調べ方とまとめ方を学ぶ。
【第6回】　各自の関連文献や専門雑誌からプレゼン資料を作り発表する。
【第7回】　個人の研究論文（レポート）作成までの計画発表・ディスカッション
【第8回】　個人の研究論文（レポート）作成までの計画発表・ディスカッションをふまえ先行研究のまとめを行う。（予定）
【第9回】　各自の関連文献や専門雑誌・先行研究のまとめを行う。
【第10回】　各自の関連文献や専門雑誌・先行研究の発表を行う。
【第11回】　個人研究論文（レポート）の発表準備・まとめ方を学ぶ
【第12回】　個人研究論文（レポート）の発表・ディスカッションを行う
【第13回】　授業内理解度調査及び個人の論文（レポート）中間報告準備・資料の作成方法を学ぶ
【第14回】　授業内理解度調査及び個人の論文（レポート）中間報告・プレゼン
【第15回】　①自己評価表の記入・提出
②個人研究論文（レポート）計画の発表・ディスカッション、まとめ